

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境保全課長	丸山剛
環境-17 衛生・害虫駆除事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境保全課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針
			環境汚染の防止

1 事業の目的

対象	市民等
意図	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。
効果	不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行う。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	3,717	10,076	当初予算(千円)	15,152			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	3,717	10,076	一般財源	15,152			
事業運営	人員配置数	3.0	2.5	人員配置数	1.5			
	人件費(千円)	22,327	19,077	人件費(千円)	11,439			
	総事業費(千円)	26,044	29,153	総事業費(千円)	26,591			
	市民1人当りの経費(円)	147	164	市民1人当りの経費(円)	150			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	技能労務職職員が直営で実施していたスズメバチの巣の駆除業務を委託業務化するとともに、経費の一部負担を導入した。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	職員に要していた人件費に相当する額を委託料に組み替え、駆除に要した経費の一部負担もあわせて導入した。スズメバチ等害虫駆除事業の委託化とともに、職員による維持継続が求められるものはひきつづき実施していく。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	27年度からスズメバチの巣の駆除業務を新たに委託業務として実施するとともに、市民からの実質的な受益者負担も導入した。ユスリカやねずみ等不快害虫等の駆除については市民からの要望にできる限り対応できる体制を整え駆除事業を行った。公の施設等駆除が必要な個所の駆除については施設管理者と調整して体制の整備を進めていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	スズメバチの営巣活動は、気候や気温に左右されるため、駆除の相談が一時期に集中する傾向があり、迅速な対応が求められる。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	技能労務職職員による直営の事業実施を業者委託に変更した。あわせて市民から経費の一部負担を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	スズメバチの駆除事業を委託化し、経費の一部負担を導入したが、市民からの要望に適切に対応できる体制を確立したうえで、委託業務のさらなる競争性を導入するため、入札の実施を行っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スズメバチの駆除について相談を受け、駆除した件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
スズメバチ駆除に対して早期解決を目指すため	目標値	800	800	600						
	実績値	1,011	403							
	達成率	126.4%	50.4%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---